

IMail Server v12.5.6 IMail Premium v12.5.6 アップグレードガイド

内容

| 1:アップグレード前に | |
|--|----|
| 2:Windows Server での事前設定 | 5 |
| Windows Server 2008/2008R2 の IIS 設定方法 | 5 |
| Windows Server 2012/2012R2 、Windows Server 2016 の IIS 設定方法 | 9 |
| 3:バックアップの取得 | |
| 4:データインポート(サーバ移行を伴う場合) | |
| 5:IMail Server インストーラについて | |
| 6:アクティベーション | |
| 6-1:インターネットにアクセスできる環境の場合 | 29 |
| 6-2:インターネットにアクセスできない環境の場合 | |
| 7:プログラムインストール | |
| 8:ディアクティベーション/評価ライセンスから製品版ライセンスへの切り替え | |
| 9:SQL Server オブジェクト設定 | |

1:アップグレード前に

本書は旧バージョンの IMail Server から最新バージョンへのアップグレード方法を説明した資料です。 新規インストールされるお客様は別紙の「インストールガイド」をご確認ください。

【対応 OS】

- Windows Server 2008 (32bit)
- Windows Server 2008 (64bit)
- Windows Server 2008 R2
- Windows Server 2012
- Windows Server 2012 R2
- Windows Server 2016

【必要要件】

- Internet Information Service(IIS) 7.0 以上
- Microsoft Data Access Component (MDAC) 2.8 SP1 or later
- Microsoft .Net Framework 4.0 又は 4.5 以上
- Microsoft .Net Framework 3.5 Service Pack 1
 ※IMail インストーラーより SQL Server Express をインストールする場合に必須です。

【注意】

■ IMail Server ではインストールの際にプログラムキーによる「アクティベーション」が必要になります。
 IMail Server を新規ご購入されたお客様は「ライセンス登録確認書」に記載のあるプログラムキー
 を利用してください。

サービスアグリーメント(保守契約)を継続し、IMail Server v10 以降のバージョンを利用しているお 客様は、既にお持ちのプログラムキーを利用してください。 ※IMail Server v10 以降ではプログラムキーが共通となっております。

- サーバーリプレースを伴う IMail Server のバージョンアップをされる場合、移行元サーバーと移行 先サーバーにて OS の「コンピューター名」が同一の場合、評価キーで作業を実施し、最後に製品 版プログラムキーでアクティベーションし直す事を推奨します。評価キーについてはサポートセンタ ーにご連絡ください。評価キーはバージョンによって異なります。そのため利用バージョンもお伝え ください。
- ドメインコントローラー上への IMail Server のインストールはサポートされておりません。
 FAQ「ドメインコントローラー上への IMail Server のインストールについて」
 https://secure.okbiz.okwave.jp/cybernet/faq/show/1113
- IMail Server のインストーラーより Microsoft SQL Server 2008 Express(SQL Management studio 含む)のインストールが可能です。これは WebMessaging のアドレス帳情報をストアする為に利用さ れます。メールボックスデータはストアされません。WebMessaging では仕様上、都度 DB にアクセ スします。開発元では MDB は 10 ユーザ以下の規模での利用、それ以上の場合には SQL

Server(又は SQL Express)が望ましいとの見解です。

※WebMessaging を利用しない場合は、MDB 選択で問題ありません。

- Windows Server 2012 / Windows Server 2016 では IMail Server のインストーラーより Microsoft SQL Server 2008 Express をインストールする事はできません。事前に Microsoft SQL Server 2010(Express Edition 含む)以降のバージョンをインストールしてください。
- SQL Management studioの設定及び動作についてはサポート対象外となります。
- 新機能又は既知の障害については別冊の「IMail Server v12 補足資料」をご確認ください。
- IMail Server 既知障害については「テクさぽ」をご確認ください。 https://secure.okbiz.okwave.jp/cybernet/category/show/249
- IMail Server ライセンスを購入しますと、上位バージョンで機能「Premium Antispam」機能が評価と して 30 日間利用可能です。30 日経過後した後は下記 FAQ 記載のとおり機能をアンインストール する必要があります。

FAQ「Premium Antispam と IMail Anti-Virus CYREN 評価について」 <u>https://secure.okbiz.okwave.jp/cybernet/faq/show/1362</u> 「Premium Antispam」機能をインストールしない事も可能です。

【その他】

本ドキュメントとあわせまして『IMail Server インストール手順』もご確認ください。新規インストール・ アップグレードの方法についての簡易的なフローを掲載しております。

『IMail Server インストール手順』

https://download.cybernet.co.jp/ITD/imail-free/IM1256/IMail_InstProcedure.pdf

また弊社 IMail Server 製品ページと「テクさぽ」にも情報を掲載しておりますので、こちらも併せてご確認ください。

IMail サーバーの情報ページ

http://www.cybernet.co.jp/imail/

テクさぽ

https://secure.okbiz.okwave.jp/cybernet/

ログインアカウントはご購入時にお渡ししている「ライセンス確認書」をご参照ください。

2:Windows Server での事前設定

サーバ移行を伴うアップグレードで Windows Server に IMail Server を新規インストールする場合は、事前に下記3点の設定が必要です。

1, Internet Information Service 7.0 / 8.0 / 10(以下 IIS)の設定*1

2, Microsoft .Net Framework 4.0 のインストール又は Microsoft .Net Framework 4.5 の有効化 *2

3, Microsoft .Net Framework 3.5 の有効化 *3

*1 Windows Server 2008 では IIS7、 Windows Server 2012 では IIS8、 Windows Server 2016 では IIS10 となります。

*2 Windows Server 2008 では Microsoft .Net Framework 4.0 又は Microsoft .Net Framework 4.5 を<u>イ</u> <u>ンストール</u>、 Windows Server 2012 では Microsoft .Net Framework 4.5 を<u>有効化、</u>Windows Server 2016 では Microsoft .Net Framework 4.6 を<u>有効化</u>します。Windows Server 2012/ Windows Server 2016 での Microsoft .Net Framework 4.0 のインストールは不要です。

*3 IMail Server のインストーラーより SQL Express をインストールする場合に必須となります。利用しない場合は不要です。

Windows Server 2008/2008R2の IIS 設定方法

1) スタート - 管理ツール - サーバー マネージャを選択します。 「役割サービスの追加」をクリックします



2)「役割サービスの選択」画面にて赤枠で囲っている役割サービスをチェックします。
 ※IMail Server をインストールする為に必要最小限の役割サービスを選択しております。
 他の役割サービスを追加しても構いません。

| 役割の追加ウィザード | And I I I I I I I I I I I I I I I I I I I | × |
|---|---|---|
| 役割サービスの選択 | | |
| 開始する前に サーバーの役割 Web サーバー (IDS) 確認 進行状況 結果 | Web サーバー(IIS) にインストールする役割サービスを選択 (役割サービス(B)) ● Web サーバー ● Web サーバー ● Z HTTP 基本減化 ● Z HTTP 基本減化 ● J HTTP 基本減化 ● J HTTP 基本減化 ● J HTTP 基本減化 ● J HTTP JA ● J HTTP JA ● J HTTP JA ● MSP NET ● MSP NET | 以明 「たましたインの動限では、要求の発 「なた」アノレスまたはトメイン名に差つ 「たっシアノンスを取りたまたはも子でし システレクションの「たいます」 いたっシアノンスを制御するのではた、特 定いアウセスを制御できます。 |
| | <前へ(P) 次/ | (N)> 1>21-11(1) ++>1211 |



選択後、画面右下の【次へ(N)】ボタンを押して、次の画面に進みます。

 3)「インストールオプションの確認」画面が表示されますので、【インストール(I)】ボタンを押して、 次の画面に進みます。

| 「「「「」 インストール オプシ 開始する前に | コンの確認 、次の役割、役割サービス、または場能をインストールするには、「インストール」をグリックしてください。 | |
|----------------------------|---|---|
| 開始する前に | 次の役割」役割サービス、または機能をインストールするには、「インストール」をクリックしてください。 | |
| サーバーの役割 Web サーバー (IIS) | (1) 次の21回の消費額メッセージ | |
| 役割サービス | ④ インストールの完了後に、このサーバーの再起動が必要になる場合があります。 ○ Web サーバー(IIS) | - |
| 進行状況 | ● Windows システム リソース マネージャ (WSRM) と、CPU 使用車の最適化のための活用方法の詳 | |
| | この情報を印刷、電子メールで送信、または保存 | |
| | <前へ(2) 次へ(2) / インストール(2) キャンセル | |

4) インストールが開始されます。

| 開始する前に | 次の役割、役割サービス、または機能をインストールしています |
|--|-------------------------------|
| ブーハーの(x 書) Web サーバー (IIS) ((交割サービス 確認 <u>値行けだ兄</u> 法果 | Web #-//- (IIS) |
| | そう インストールを開始しています |

5) 「インストールの結果」画面に「インストールが正常に完了しました」のメッセージが表示されて いることを確認し、【閉じる(O)】ボタンを押して、本画面を終了します。

| +-((- (πc) | ○ Web サーバー (IIS) | ◎ インストールが正常に完了しました |
|---------------------------------|---|--------------------|
| 93到14—123 2 开状况 3 3 | 次の役割サービスがインストールされま Web サーバー HTTP 基本機能 新参1なコンテンツ 既立のドキュンント ディレクトリの参照 HTTP リラー HTTP リダイレグション アプリケーション研発 ASP NET NET 拡張性 ASP ISAPI 拡張性 ASP ISAPI 拡張性 ASP ISAPI 近る ISAPI 近る に 広和日本の した の 「 の した の した に した に した に した した に した に した した した した した した した した した した | Ut: |

1)「役割と機能の追加」を選択します。

| b | サーバー マネージャー |
|---|--|
| €→ サーバー | マネージャー・ ダッシュボード |
| ☶ ダッシュボード | サーバー マベーダマーへようこそ |
| ■ ローカル サーバー ■= すべてのサーバー ■= ファイル サービスと記憶域… ♪ | 1 このローカル サーバーの構成 |
| | 2 役割と機能の追加 3 管理するサーバーの追加 |
| | 最新情報(型) 4 サーバー グループの作成 |
| | |

2) 【次へ(N)】ボタンを押します。

| a | 役割と機能の追加ウィザード |
|---|---|
| 開始する前に | 対象サーバー kgtm-96d.ITDNET.local |
| 開始する前に インストールの種類 サーパーの選択 サーパーの役割 機能 確認 結果 | このウィザードを使用すると、役割、役割サービス、または機能をインストールできます。ドキュメントの共有や Web サイト のホストなどの組織のコンピューティング ニーズに応じて、インストールする役割、役割サービス、または機能を決定しま す。 役割、役割サービス、または機能を削除するには、次の手順を実行します: 役割と機能の削除ウィザードの起動 総行する前に、次のタスクが完了していることを確認してください。 ・ 管理者アカウントに強力なパスワードが設定されている ・ 静む IP アドレスなどのネットワークの設定が構成されている ・ Windows Update から最新のセキュリティ更新プログラムがインストールされている 前提条件が完了していることを確認する必要がある場合は、ウィザードを閉じて、それらの作業を完了してから、ウィザー ドを再度美行してください。 総行するには、「次へ」をクリックしてください。 |
| | □ 既定でこのページを表示しない(S) |
| | <前へ(P) (次へ(N)> (ハーイスくトール(I)) キャンセル |

3) 「役割ベースまたは機能ベースのインストール」を選択し、【次へ(N)】ボタンを押します。

| A | 役割と機能の追加ウィザード | |
|--|----------------|--|
| 役割と機能の追加ウイザード インストールの種類の選択 パストールの種類の選択 パストールの種類の パストールの種類 ヴーパーの選択 ヴーパーの提 ヴーパーの役割 磁能 | | □ X 対象サーバー kgtm-96d.ITDNET.local コンピューター、仮想コンピューター、またはオフライ 或します。 をインストールして、仮想マシン ペースまたはセッ |
| | < 前へ(2) (次へ(2) | 1)> -{>21-1/(I) + 7>tuu |

4) サーバープールに今回 IMail Server をインストールするサーバーの名前が表記されている事を 確認し、【次へ(N)】ボタンを押します。

| a | 役割と機能の追加ウィザード |
|---|--|
| 対象サーバーの選 | 対象サーバー 検gtm-96d.ITDN/EF.local |
| 開始する前に インストールの種類 サーパーの選択 サーパーの役割 機能 確認 結果 | 役割と機能を12ストールするサーバーまたは仮想ハード ディスクを選択します。 ●「サーバー ブールからサーバーを選択 ○ 仮想ハード ディスクから選択 サーバー ブール フィルクー: 名前 IP アドレス オペレーティング システム kgtm-96d.ITDNET.local 10.21.3.40 Microsoft Windows Server 2012 Standard 評価版 |
| | 1 台のコンピューターが見つかりました このページには、Windows Server 2012 を実行しており、サーバー マネージャーの [サーバーの追加] コマンドを使 用して適加されたサーバーが表示されます。オフライン サーバーや、データ収集が完了していない、新たに追加された サーバーは表示されません。 < 前へ(P) 次へ(M) > インストール(I) キャンセル |

5) サーバーの役割より「Web サーバー (IIS)」を選択します。

| A | 役割と機能の追加ウィザード | _ _ × |
|---|--|---|
| サーバーの役割の道 | 選択 | 対象ザーバー kgtm-96d.ITDNET.local |
| 開始する前に インストールの種類 | 選択したサーバーにインストールする役割を 1 つ以上選択します。 役割 | 說明 |
| サーバーの選択 サーバーの役割 機能 Web サーバーの役割 (IIS) | DHCP サー/(- DNS サー/(- FAX サー/(- FAX サー/(- | Web サーバー (IIS) は、信頼性、管理 性に優れた、スケーラブルな Web アプリ ケーション インフラストラクチャです。 |
| 役割サービス 確認 結果 | Web サーバー (IIS) Windows Server Update Services Windows 展開サービス アプリケーション サーバー | |
| | □ アンデ シスシン ハーマンシン トレンシン シービス □ ネットワーク ポリシーとアクセス サービス □ アンイル サービスおよび記憶域サービス (インストール済み) □ ポリューム ライセンス認証サービス | |
| | □ リモート // ⑦Cス □ リモート // ⑦Cス □ 印刷とドキュメント サービス | |
| | < 前へ(<u>P</u>) 次へ(<u>N</u>) |) > インストール(I) キャンセル |

6) 先の 5)で「Web サーバー (IIS)」を選択した際に、下記画面が表示された場合、【機能の追加】を クリックします。5)の画面に戻りますので【次へ(N)】ボタンを押します。

| þ | 役割と機能の追加ウィザード | x | |
|---|--|---|--|
| | Web サーバー (IIS) に必要な機能を追加しますか? この機能を管理するには次のツールが必要ですが、同じサーバーにインストール する必要はありません。 | | |
| | ▲ Web サーバー (IIS) ▲ 管理ツール [ツール] IIS 管理コンソール | | |
| | ✓ 管理ソールを含める (存在する場合) 機能の追加 キャンセル | | |

7) 「.NET Framework 4.x Features」の下にある「ASP.NET 4.x」を選択し、【次へ(N)】ボタンを押しま す。(下記は、Windows Server 2012R2 の例です。)

| a | 役割と機能の追加ウィザード | _ |
|--|--|---|
| 機能の選択 | | 対象サーバー kgtm-96d.ITDNET.local |
| 間始する前に インストールの種類 サーバーの違訳 サーバーの役割 Web サーバーの役割 (IIS) 役割サービス 確認 結果 | 選択したサーバーにインストールする機能を 1 つ以上選択します。 機能 ● ・NET Framework 3.5 Features ● ● .NET Framework 4.5 Features (インストール済み) ● .NET Framework 4.5 (インストール済み) ● INET Framework 4.5 (インストール済み) ● INET Framework 4.5 (インストール済み) ● BitLocker ドライフ暗号化 ● BitLocker ドライフ暗号化 ● BitLocker ドライフ暗号化 ● BitLocker ドライフ暗号化 ● HTTP プロキジを経由した RPC □ IP アドレズ管理 (IPAM) サーバー □ ISNS サーバー サービス □ LPR ポート モニター ● Management Obata IIS 拡張機能 ● Media Foundation | 初 SPNET 4.5 では、IIS ど統合されたア クリケーションに加えて、ASPNET 4.5 ス ンドアロン アプリケーションの美行をサ くートする基盤となります。 |
| | | 1×21-1/[] =1×21 |

8) 【次へ(N)】ボタンを押します。

| a | 役割と機能の追加ウィザード | _ D X |
|---|--|--|
| Web サーバーの行 | 殳割 (IIS) | 対象サーバー kgtm-96d.ITDNET.local |
| 開始する前に インストールの種類 サーバーの選択 サーバーの役割 | Web サーバーは、インターネット、またはイントラネットやエクストラネットを介して、情報を共有 Web サーバーの役割にはインターネット インフォメーション サービス (IIS) 8.0 が含まれます。 の進化、診断および管理、IIS 8.0, ASP.NET、および Windows Communication Fo 統合 Web プラットフォームを備えています。 注音車頂・ | できるコンピューターです。 IIS 8.0 は、セキュリティ undation を統合した、 |
| 機能 Web サーバーの役割 (IIS) 役割サービス 確認 結果 | Windows システム リソース マネージャー (WSRM) を使用すると、Web サーバーのトラ、ます。特にこのコンピューターに複数の役割がある場合は有効です。 Web サーバー (IIS) の役割の既定のインストールには、静的なコンテンツの提供、簡単応 キュンシトや HTTP エラーなど)、サーバーの動作状況の監視やログへの記録、静的なコン 現するための役割サービスのインストールが含まれます。 | フィックを平等に処理でき tカスクマイズ(既定のド テンツの圧縮の構成を実 |
| | Web サーバー IIS の詳細 | |
| | <前へ(<u>P</u>) (次へ(<u>N</u>) > インスト | ール(王) キャンセル |

9) 赤枠で囲まれた項目を選択し、【次へ(N)】ボタンを押します。

※IMail Server インストールに必要最低限な項目のみ選択しています。その他の項目を選択されても問題ありません。

| | 反割と機能の追加ウィリート | , | |
|---|---|---|---|
| 役割サービスの選択 | | | 対象サーバー kgtm-96vm2.ITDNET.local |
| 間始する前に W インストールの理想 サーバーの理訳 サーバーの回訳 サーバーの回割 機能 Web サーバーの位割 (IIS) を割サービス 確認 部回 | ab サーバー (IIS) のインストールする税割サービスを選択します 割サービス | 田畑 | - 互換性が必ります。この認証方 - か同いためで、没ためくたみ せん。このプロステをおく知道。 そので見たのであると、 やまかしたくスクートが悪い。単 やまかしたくスクートが悪い。単 やまかしたくスクートが悪い。 |
| | | <前へ(<u>P</u>) 次へ(<u>N</u>) > | 1>21-11(I) =+1>211 |
| b | 役割と機能の追加ウィザ | 4- | _ D X |
| 役割サービスの | 選択 | 1 | 対象サーバー kgtm-96d.ITDNET.local |
| 開始する前に インストールの種類 サーバーの違訳 サーバーの役割 機能 Web サーバーの役割 (1 役割サービス 確認 結果 | Web サーバー(IIS)のインストールする役割サービス ● パフォーマンス ● 静的なコンテンツの圧縮 ● 動的なコンテンツの圧縮 ● 助的なコンテンツの圧縮 ● 以 状態と診断 ● HTTP ログ □ のDBC ログ □ 丸スタム ログ □ たース □ ログ ツール 要求の監視 ● アプリケーション開発 ■ FTP サーバー □ FTP サービス □ FTP サービス □ IIS 未太ト可能な Web コア | スを選択します 説明 Windows 認証 向けの低コストの この設証スキーし 2の説証スキーし 2の読述ストーの 2の読む 2の一の 2の一の 2の一の 2の一の 2の一の 2の一の 2の一の 2の一の 2の一の 2の一の 2の一の 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20 | は、内部 Web サイト 認証シリューションです。 を採用すると、 200管理者はドメイン イ ミューザー20証に活用で カサイトにアクセスする る必要があるとおし、 は使用しないでください。 |
| | <前 | へ(<u>P)</u> 次へ(<u>N</u>) > インスト | -N(I) ++7/2N |

| | 役割と機能の追加ウィザード | _ D × |
|--|---|--|
| 役割サービスの選打 | R | 対象サーバー kgtm-96d.ITDNET.local |
| 開始する前に インストールの種類 サーバーの選択 サーバーの役割 機能 Web サーバーの役割 (IIS) 役割サービス 確認 結果 | Web サーバー (IIS) のインストールする役割サービスを選択します ② アンゲーション開発 ● マンゲーション開発 ● ハET 拡張機能 3.5 ● Application Initialization ● ASP.NET 3.5 ● ASP.NET 3.5 ● ISAPI 7/ルター ▼ ISAPI 7/ルター ♥ ISAPI 5/ルター ● サーバー 働 インクルード ● FTP サーバー ● FTP サーズ ● FTP 拡張 ▼ ISAB | 以明 アウトラン開発は、Web アウルケー シンを開発されびホストするためのインフ うれきがを使用して、Web コンテンツを作 成したり IIS の瞬絶を犯法することができ す。道常、これらのケタノロジによって勤 的な処理を実行できるようになり、この結 足広された HTML 出力が IIS によっ て送信され、クライアント要求が処理され ます。 |
| | <前へ(<u>P</u>) 次へ(<u>N</u> |) > {\\/\-/\(I) +7\\\/\ |
| | | |
| <u>k</u> | 役割と機能の追加ウィザード | _ _ × |
| ⊾ 役割サービスの選打 | 役割と機能の追加ウイザード 尺 | ー ロ X 対象サーバー kgtm-96d.ITDNET.local |
| ▶ 役割サービスの選打 協始する前に ・ンストールの種類 サーバーの運訳 サーバーの役割 Web サーバーの役割 (IIS) 役割サービス 福認 結果 | 役割と機能の追加ウイザード | |

10)「必要に応じて対象サーバーを自動的に再起動する」を選択し、【インストール(I)】ボタンを押し ます。

| インストール オプショ | シの確認 | 対象サーバ・ kgtm-96d.ITDNET.loca |
|--------------------------------|---|---|
| 開始する前に インストールの種類 サーバーの選択 | 選択したサーバーに次の役割、役割サービス、または機能をインストーノ ✓✓ 必要に応じて対象サーバーを自動的に再起動する オプションの機能(管理ツールなど)は、自動的に選択されるため、この | ルするには、 [インストール] をクリックしてください パージに表示されている可能性があります。 こ |
| サーバーの役割 | らのオブションの機能をインストールしない場合は、[前へ]をクリックして | 、チェック ポックスをオフにしてください。 |
| 機能 | .NET Framework 4.5 Features | |
| Web サーバーの役割 (IIS) | | |
| 役割サービス | Web リーハー (IIS) 管理ツール | 1 |
| 確認 | ロイエン ル IIS 管理コンソール | |
| 結果 | Web #-1/- | L |
| | アプリケーション開発 | |
| | ASP.NET 4.5 | |
| | ISAPI 拡張 | |
| | ISAPI フィルター | |
| | .NET 拡張機能 4.5 | |
| | UTTD 土福地約 | |
| | 構成設定のエクスポート 代替ソース パスの指定 | |

 $\ensuremath{\mathbb{C}}$ 2017 CYBERNET SYSTEMS CO., LTD. All Rights Reserved. 11) インストール終了後、【閉じる】ボタンを押し、本画面を終了します。

| b | 役割と機能の追加ウィザード | _ 🗆 X |
|-----------------------------|--|----------------------------|
| インストールの進行 | ·状況 kgtm- | 対象サーバー 96d.ITDNET.local |
| 開始する前に | インストールの進行状況の表示 | |
| インストールの種類 | () 機能のインストール | |
| サーバーの選択 サーバーの役割 | kgtm-96d.ITDNET.local でインストールが正常に完了しました。 | |
| 機能 | .NET Framework 4.5 Features | ^ |
| Web サーバーの役割 (IIS) 役割サービス | ASF.NE1 4.3 Web サーバー (IIS) 管理ツール | = |
| 確認 | IIS 管理コンソール Web サーバー アプリケーション開発 ASPNET 4.5 ISAPI 拡張 | |
| | ISAPI フィルター .NET 拡張機能 4.5 | ~ |
| | このウイザードを閉じても、実行中の処理が中断されることはありません。処理の進行状況 ページを再度間いたりするには、コマンドパーの[通知]をクリックし、[タスクの詳細]をクリ 構成設定のエクスポート | 注表示したり、この ックします。 |
| | (前へ(2)) 次へ(1) > 開びる | キャンセル |

【注意】

IIS をインストールした際に Microsoft SMTP Service がインストールされる場合があります。この場合 IMail Server の SMTP ポートとバッティングし、IMail Server が正しく動作しない原因となります。インス トールされた場合、Windows のサービスから Microsoft SMTP Service を停止し、"スタートアップの種 類"を"無効"にしてください。



サーバーをリプレースする・しないに関わらず、アップグレード前に必ず IMail Server でバックアップを取 得します。

バックアップの対象は「レジストリ」及び「IMail Server インストールディレクトリ」です。

バックアップする際には必ず IMail Server 上で稼働しているサービスを全て停止してください。

1) レジストリをバックアップする場合、「レジストリエディタ」を利用します。

※レジストリエディタの起動方法は 32bit OS/64bit OS で異なります。

● 32 bit OS の場合「スタート」-「ファイル名を指定して実行」-「regedit」と入力し「OK」をクリックします。

| ファイル名 | を指定して実行 | <u>? ×</u> |
|-----------------|--|------------|
| - | 実行するプログラム名、または聞くフォルダやドキュメント名、インター ットリソース名を入力してください。 | ネ |
| 名前(<u>O</u>): | regedit | • |
| | OK キャンセル 参照(B) | |

64 bit OS の場合「スタート」-「ファイル名を指定して実行」-「syswow64」-「regedt32.exe」を実行します。又は C:¥Windows¥SysWOW64¥regedt32.exe を起動します。

| 📨 ファイノ | は名を指定して実行 🛛 🛛 |
|----------------|--|
| | 実行するプログラム名、または開くフォルダやドキュメン ト名、インターネット リソース名を入力してください。 |
| 名前(<u>0</u>) |): C:¥windows¥syswow64 ▼ このタスクは管理者特権で作成されます。 |
| | OK キャンセル 参照(<u>B</u>) |

| 🕥 🕞 🔸 windows + syswow64 | * | ▼ 🐼 検索 | | | 2 |
|---|----------------|------------------|--------------|-------|------|
| ファイル(E) 編集(E) 表示(V) ツール(I ● 整理 ▼ 目 表示 ▼ □ 開(|) ヘルプ(円) | | | | • |
| お気に入れいわ | 名前 ^ | ▼ 更新日時 | + 種類 + | サイズ | - |
| 2220270792929 | recover | 2006/11/02 18:45 | i アプリケーション | 12 K | В |
| | reg | 2008/01/19 16:33 | ト アプリケーション | 59 K | В |
| 2 ピクチャ | 🚳 regapi.dll | 2008/01/19 16:36 | に アプリケーション拡張 | 66 K | в |
| 🛃 ミュージック | 🚳 RegCtri.dll | 2008/01/19 16:36 | i アプリケーション拡張 | 40 K | В |
| ■¥糸田 × | 💣 regedit | 2008/01/19 16:33 | I アプリケーション | 132 K | (В |
| 87''W | regedt32 | 2006/11/02 18:45 | i アプリケーション | 9 K | В |
| 7+14 | , 🔲 regini | 2008/01/19 16:33 | レ アプリケーション | 43 K | В |
| | 🗾 regsvr32 | 2006/11/02 18:45 | i アプリケーション | 14 K | в |
| 🌉 syswow64 🔄 | ڬ 🔥 rekeywiz | 2008/01/19 16:33 | レ アプリケーション | 42 K | в |
| 0411 | RelMon.dll | 2008/01/19 16:36 | ド アプリケーション拡張 | 333 K | В |
| 🍌 AdvancedInstallers | relog | 2006/11/02 18:45 | i アプリケーション | 37 K | в |
| ル ar-SA | 🚳 remotepg dll | 2008/01/19 16:36 | ド アプリケーション拡張 | 57 K | в |
| 🔒 bg-BG | remotesp.tsp | 2006/11/02 18:44 | TSP ファイル | 80 K | (в 🔔 |
| | replace | 2006/11/02 18:45 | i アプリケーション | 17 K | в |
| Com | ■ reset | 2008/01/19 22:52 | ! アプリケーション | 15 K | в |
| Config | results.chk | 2010/02/08 16:44 | 回復されたファイル | 1 K | в |
| Cs=07 | s resutils.dll | 2008/01/19 16:36 | i アプリケーション拡張 | 64 K | в |
| | | | | | · |

下記のレジストリを選択し、「右クリック」-「エクスポート」を実行します。

 ${\sf HKEY_LOCAL_MACHINE} \\ {\sf SOFTWARE} \\ {\sf Ipswitch} \\$

HKEY_LOCAL_MACHINE¥SYSTEM¥CurrentControlSet¥Services¥SMTPD32 HKEY_LOCAL_MACHINE¥SYSTEM¥CurrentControlSet¥Services¥SMTPServer HKEY_LOCAL_MACHINE¥SYSTEM¥CurrentControlSet¥Services¥POP3D32 HKEY_LOCAL_MACHINE¥SYSTEM¥CurrentControlSet¥Services¥SYSLOGD HKEY_LOCAL_MACHINE¥SYSTEM¥CurrentControlSet¥Services¥IMAP4D32 HKEY_LOCAL_MACHINE¥SYSTEM¥CurrentControlSet¥Services¥OpenLDAP-slapd HKEY_LOCAL_MACHINE¥SYSTEM¥CurrentControlSet¥Services¥QueueMgr

 IMail Server のインストールディレクトリ「Ipswitch」*以下をフォルダごとバックアップします。 デフォルト設定の場合、「Ipswitch」*ディレクトリをバックアップしますと、「設定ファイル」及び 「メールデータ」などの IMail Server で利用される設定情報が全て取得可能です。 ※レジストリにも設定情報があります。

*IMail Server 8.2 より利用されている場合、「IMail」フォルダとなっている場合があります。 インストールディレクトリの確認方法は次ページの<<Tips>>をご確認ください。 ≪Tips≫

IMail Server のインストールディレクトリは IMail Administration Console - System -System タブ*の「Top Directory」から確認ができます。下記では「C:¥Program Files¥Ipswitch¥IMail」となっておりますが、「Ipswitch」ディレクトリ以降をバックアップしま す。

*IMail Server v10 の場合、IMail Server Administration - System - System Settings より 確認できます。



IMail Server のプログラムとドメインをそれぞれ別ディレクトリで運用・管理されている場合、ドメインの情報は IMail Administration Console – Domains*の「Top Directory」に保管されます。この「Top Directory」のフォルダ(下記の場合 IMail フォルダ)をバックアップします。IMail Server のプログラムとドメインを別管理していない場合は 1)のバックアップのみで終了です。

* IMail Server v10 の場合、IMail Server Administration - Home - Manage Domains より確認できます。



※フォルダ内の設定ファイル詳細については下記 FAQ をご確認ください。

FAQ「バックアップ対象 2」

https://secure.okbiz.okwave.jp/cybernet/faq/show/862

3) WebMessaging アドレス帳

WebMessaging アドレス帳情報は「Microsoft Access Driver (*.mdb)」又は「SQL Server」に保管されます。 どちらのデーターベースを利用しているかの確認方法は、IMail Server がインストールされたサーバー の「ODBC データソース アドミニストレーター」の「システム DSN」より確認します。

IMail Server でのデーターソース名は「WorkgroupShare」です。この画面の「ドライバー」を確認し、 「Microsoft Access Driver (*.mdb)」又は「SQL Server」を判別します。

下記では「SQL Server」が利用されています。

| 🗃 ODBC データ ソース アドミニストレーター | × |
|---|----------------------------|
| ユーザー DSN システム DSN ファイル DSN ドライバー トレース 接続プ | ール「バージョン情報」 |
| システム データ ソース(S): 名前 ドライバー WorkgroupShare SQL Server | <u>道加(D)</u> 肖邶余(R) |
| | 構成(C) |
| | |
| | |
| 0DBC システム データ ソースには指定されたデータプロバイダーへ 報が格納されています。システム データ ソースは、NT サービスを含 すべてのユーザーが認識することができます。 | の接続方法に関する情 むこのコンピューター上の |
| OK キャンセル 適用 | = |

≪Tips≫

- 32 ビットの Windows Server を利用されている場合、スタート コントロールパネル 管理ツールより「データソース(ODBC)」を選択します。
- 64 ビットの Windows Server を利用している場合は「ファイル名を指定して実行」より 「syswow64」と入力し、「odbcd32.exe」を実行し本画面を起動させてください。又は C:¥Windows¥SysWOW64¥odbcad32.exe を起動します。

「Microsoft Access Driver (*.mdb)」が選択されている場合、「IMail インストールディレクトリ」をバックアップしますと、実際のデータファイル(WorkgroupShare.mdb)も併せて保管がされます。 ※デフォルトの保管ディレクトリは「Ipswitch¥IMail¥WorkgroupShare¥Data」です。

アップグレードと共に SQL Server のリプレースも行う場合、データのエクスポートが必要になります。 このデータエクスポートは「SQL Server Management Studio」から行います。

※SQL Server Management Studio の技術的なサポートについてはお答えする事ができません。 ※SQL Server Management Studio は IMail Server v11.00 では同梱しておりません。Microsoft の Web サイトからダウンロードし、設定を行ってください。

※SQL Server を IMail Server とは別のサーバーに構築し、移行後もその SQL Server を利用する場合にはエクスポート作業は不要です。

3-1, SQL Server Management Studio にログインし、Database - WorkgroupShare を右クリックし、「Back Up…」を選択します。

| Microsoft SQL Ser | ver Management Studio | | |
|-------------------------------|-------------------------------------|---------------------------|--|
| File Edit View T | ools Window Com <mark>m</mark> unit | ty Help | |
| 일 New Query 🛛 👔 🗌 |) 🞽 🖬 🕘 🕰 🖕 | | |
| Object Explorer | + + → | × | |
| Connect 🗸 📑 📑 | 7 🛃 🍒 | | |
| KGTM-96D¥IMAI | LSERVER (SQL Server 10.0. | 1.21 | |
| ⊡ 📴 Databases ⊛ 🪞 System D | atabases | | |
| = 📙 Workgrou | New Detabase | | |
| H 🛄 Ua | New Database | | |
| 🗉 🧰 Vi | Script Database as | | |
| ⊞ 🛄 Sy ⊞ 📴 Pr | | | |
| 🗉 🚞 Se— | Tasks 🕨 | Detach | |
| 🕀 🧰 Se | Policies + | Take Offline | |
| E Carlos Security | Facets | Bring Online | |
| 🗉 🧰 Replicatio | Start PowerShell | Shrink 🔸 | |
| | Reports + | Back Up | |
| | Rename | Restore + | |
| | Delete | Generate Scripts | |
| | Befresh | Publish using Web Service | |
| | Properties | Import Data | |
| | | Export Data | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| d | | v | |
| Ready | | | |

3-2,「OK」をクリックしますと、本画面「Destination」に指定されたディレクトリに「WorkgroupShare.bak」というファイルでバックアップが作成されます。このファイルをバックアップします。

| 间 Back Up Database – Wor | kgroupShare | | | | _ 🗆 × |
|-------------------------------------|----------------------------|-----------------|----------------------|----------|------------------|
| Select a page | 🔄 Script 🝷 🚺 Help | | | | |
| General Options | | | | | |
| m. options | Source | | | | |
| | Database: | | WorkgroupShare | | • |
| | Recovery <u>m</u> odel: | | SIMPLE | | |
| | Backup type: | | Full | | ¥ |
| | Copy Only Backup | | | | |
| | Backup component: | | | | |
| | Database | | | | |
| | C Files and filegroups: | | | | |
| | Backup set | | | | |
| | <u>N</u> ame: | WorkgroupSh | are-Full Database Ba | ackup | |
| | Description: | | | | |
| | Backup set will expire: | | | | |
| | After: | 0 | ÷ d | ays | |
| Connection | C Qn: | 2012/05/18 | v | | |
| Server: | Destination | _ | | | |
| KGTM-96D¥IMAILSERVER | Back up to: | • D <u>i</u> sk | C Ta | ige | |
| Connection: ITDNET¥administrator | QL Server¥MSSQL10IMAILSE | RVER¥MSSQL¥I | Backup¥WorkgroupSh | are bak | A <u>d</u> d |
| View connection properties | | | | | <u>R</u> emove |
| Progress | | | | | <u>C</u> ontents |
| Ready | • | | | <u> </u> | |
| | | | | ок | Cancel |

4:データインポート(サーバ移行を伴う場合)

サーバ移行を伴わない場合には、本章をスキップして5章へ進みます。

アップグレードとともに別サーバへの移行を行う場合には、バックアップしたデータ(フォルダ、レジストリ) を移行先サーバにインポートします。

以前、サーバ移行を伴うアップグレードの際に、移行先サーバに移行元サーバと同じバージョンの IMail Server をインストールする手順をご案内しておりましたが、この手順は不要となりました。 本ドキュメントでご説明する移行手順は下記の通りとなります。

データインポートは下記の説明に従って行ってください。

- 1) HKEY_LOCAL_MACHINE¥SOFTWARE¥Ipswitch をエクスポートした reg ファイルをテキストエディタ で開き、下記の通り必要に応じて編集します。
 - (a) 移行先サーバでインストールフォルダを変更する場合
 「C:¥IMail」から「C:¥Program Files (x86)¥Ipswitch¥¥IMail」に変更する場合、下記の文字列で全置 換します。

検索文字列: C:¥¥IMail

置換文字列: C:¥¥Program Files (x86)¥¥Ipswitch¥¥IMail

※""(ダブルクォート)を削除しないようにご注意ください。

※regファイル内は、フォルダの区切りは ¥¥ です。

- (b) サーバの IP アドレスが変更になる場合
 変更前の IP アドレスで検索し、変更後の IP アドレスに全置換します。
- 2)移行元サーバでエクスポートした reg ファイルを移行先サーバにインポートします。
 移行先サーバが 64ビット OS の場合、必ず C:¥Windows¥SysWOW64¥regedt32.exe を起動して、「ファイル」ー「インポート」から行ってください。reg ファイルをダブルクリックしてインポートしないでください。
- インストールフォルダが変更になる場合、インポート後の下記レジストリにある「ImagePath」のパスを インストールフォルダの変更に合わせて書き換えます。
 移行先サーバが 64 ビット OS の場合、必ず C:¥Windows¥SysWOW64¥regedt32.exe で行ってください。
 HKEY_LOCAL_MACHINE¥SYSTEM¥CurrentControlSet¥Services¥SMTPD32

HKEY_LOCAL_MACHINE¥SYSTEM¥CurrentControlSet¥Services¥SMTPServer

HKEY_LOCAL_MACHINE¥SYSTEM¥CurrentControlSet¥Services¥POP3D32

HKEY_LOCAL_MACHINE¥SYSTEM¥CurrentControlSet¥Services¥SYSLOGD HKEY_LOCAL_MACHINE¥SYSTEM¥CurrentControlSet¥Services¥IMAP4D32 HKEY_LOCAL_MACHINE¥SYSTEM¥CurrentControlSet¥Services¥OpenLDAP-slapd HKEY_LOCAL_MACHINE¥SYSTEM¥CurrentControlSet¥Services¥QueueMgr

| <i>家 レジストリ エディター</i> ファイル(F) 編集(F) 表示(M) お気に入れ(| A) へ見づ(日) | | | |
|--|-----------------------------|--|-----------|--------------------|
| ロードレ コンピューター | A 100000 | 名前 | 種類 | データ |
| - HKEY_CLASSES_ROOT | | 10 MailArchiveType | REG_DWORD | 0×00000000 (0) |
| HKEY_CURRENT_USER | | a MailboxSplitChar | REG_SZ | - |
| 🗄 🌗 HKEY_LOGAL_MAGHINE | | 100 MaxConnect | REG_DWORD | 0×00000000 (0) |
| 🖮 🍌 BCD0000000 | | 38 MobileEnabled | REG DWORD | 0×00000001(1) |
| E DOMPONENTS | | ab NameServer | REG_SZ | 10.21.3.16 |
| 🗉 🍌 HARDWARE | | ab OpenLDAPInstall | REG_SZ | C:¥Program Files (|
| 🕀 🦺 SAM | | 38 OpenLDAPPort | REG DWORD | 0×00000185 (389) |
| SECURITY | | ab OpenLDAPVersion | REG SZ | 2.1.22 |
| SOFTWARE | | 100 Orphan Cleanup Minutes | REG DWORD | 0×000002d0 (720) |
| Adobe | | ab PreviousVersion | REG SZ | 0 |
| Clannegie Mellon | | RequireCramMD5 | REG DWORD | 0×00000000 (0) |
| Cliente | | 110 ScanInstalled | REG DWORD | 0×00000000 (0) |
| Description | | ab SendName | REG SZ | C#Program Files (|
| B Google | | ab SerialNumber | REG SZ | |
| | | 100 SkipAntiSpamOnRelay | REG DWORD | 0×00000000 (0) |
| A Mail | | ab SpoolDir | REG SZ | C#Program Files (|
| MAIL | | ab TopDir | REG SZ | C:¥Program Files (|
| 🕀 🚺 domains | | 110 TrailerEncoding | REG DWORD | 0×00000001(1) |
| | | 1 UseMailDir | REG DWORD | 0×00000000 (0) |
| 🐌 Install | | 111 UseMultiConnect | REG DWORD | 0×00000000 (0) |
| | | a Disease Dise | REG SZ | |
| - 🍋 Licenses | | ab Version | REG SZ | 11.03.425 |
| 😟 🎍 Microsoft | | | REG SZ | |
| 🕀 🎍 Mozilla | _ | ~~~~~ | | |
| 4 | <u> </u> | • | | <u> </u> |

4) HKEY_LOCAL_MACHINE¥SOFTWARE¥Ipswitch¥IMail¥Global にある Version を削除します。

- 5) 移行元サーバの IMail Server のインストールフォルダを移行先サーバーにコピーします。
- 6) SQL Server を利用する場合、SQL Server と Management Studio と共にインストールします。インスト ール終了後、SQL でバックアップしたデータを復元します。

※SQL Server を利用しない場合、本項目の作業をスキップします。

1, SQL Server Management Studio にログインし、Database - WorkgroupShare がない事を確認 します。存在する場合右クリックし、「Delete」を選択します。



2, Database を右クリックし、「Restore Database」を選択します。

| 🍢 Microsoft SQL Serv | er Management Studio | _ 🗆 🗙 |
|-----------------------------|---------------------------------|-------|
| File Edit View De | bug Tools Window Community Help | |
| 🕴 🔔 New Query 🛅 📑 | a 😂 🛃 🗇 🔤 🚽 | |
| Object Explorer | <u> </u> | |
| Connect 🗸 📑 📑 | 🝸 🛃 🍒 | |
| KGTM-33VM4¥IMA Databases | AILSERVER (SQL Server 10.1 | |
| 🖃 🚞 Syster | New Database | |
| i ∎ 🔰 ma i 🗄 🔰 mo | Attach | |
| 🗄 🔰 ms | Restore Database | |
| ⊞ 🚺 ter ⊞ 🚺 Worker | Restore Files and Filegroups | |
| | Start PowerShell | |
| | Reports > | |
| 🖂 🛄 Managema | Refresh | |
| | | |

3,「To database」で WorkgroupShare を選択し、ラジオボタン「From device」を選択し、「…」ボタンより、バックアップした WorkgroupShare.bak を選択します。

「Select the backup sets to restore」より、WorkgroupShare-Full Database Backup の「Restore」 のチェックボックスを選択し、「OK」をクリックします。これでインポートが終了します。

| 间 Restore Database – Work | groupShare | |
|-------------------------------------|--|--|
| Select a page | 🔄 Script 🝷 📭 Help | |
| Poptions | Destination for restore | |
| | Select or type the name of a new or existing | g database for your restore operation. |
| | To database: Worker | pupShare 💌 |
| | To a point in time: Most re | cent possible |
| | Source for restore | |
| | Specify the source and location of backup s | ets to restore. |
| | C From database: | V |
| | From device: C¥temp | ¥WorkgroupSharebak |
| | Select the backup sets to restore: | |
| | Restore Name | Component Type Server |
| | ₩orkgroupShare-Full Database I | Backup Database Full KGTM-96D¥IMAI |
| Connection | | |
| Server: KGTM−33VM4¥IMAILSERVER | | |
| Connection: ITDNET¥administrator | | |
| View connection properties | | |
| Progress | | |
| Ready | | |
| Page P | | Þ |
| | | OK Cancel |
| | | |

※SQL Express 2010 以降のバージョンをインストールしてください。またこの SQL Server の作 業は先 1)、2)のより以前に実施頂いても問題ございません。 7) ODBC アドミニストレターを起動し、Workgroupshare を設定します。

64bit OS の場合 C:¥Windows¥SysWOW64¥odbcad32.exe を起動します。

1, セットアップするデータソースドライバーを選択します。

mdb の場合「Microsoft Access Driver(*.mdb)」を SQL Server の場合は「SQL Server」を選択し 【完了】をクリックします。

| データソースの新規作成 | × |
|--|----|
| データソースの新規作成 セットアップするテータソースのドライバーを選択して付さい(S) 名前 Driver da Microsoft para arquivos texto (*, bd; *, cs Driver da Microsoft Access (*, mdb) Driver da Microsoft Base (*, dbf) Driver da Microsoft Paradax (*, db) Microsoft Access Driver (*, mdb) Microsoft Access Driver (*, mdb) Microsoft dBase Driver (*, mdb) Microsoft dBase Driver (*, dbf) < <u>in</u> >> | × |
| < 戻る(8) 完了 キャン セ | ll |

2,「Microsoft Access Driver(*.mdb)」の場合

データソース名に「Workgroupshare」と入力し、【選択】をクリックします。

| ODBC Microsoft Access セットアップ | X |
|--------------------------------------|------------------|
| データ ソース名(<u>N</u>): Workgroupshare | ОК |
| 說明(<u>D</u>): | = +p>tzu |
| データペース | |
| データペース: | (H) |
| 選択(s) 作成(c) 修復(R) 最適化(M) | 詳細設定(<u>A</u>) |
| システム データペース | |
| ● なし(E) | |
| ○ データペース(<u>T</u>): | |
| システム データペース(Y) | オプション(0)>> |

下記画面が表示されますので、IMail¥WorkgroupShare¥Data¥WorkgroupShare.mdb を選択し

【OK】をクリックします。

| | データベースの選択 | × |
|--|--|---|
| データベースを(A) WorkgroupShare.mdb WorkgroupShare.mdb へ | 2πJKở-(D): c:¥¥data Program Files (x86 Pipswitch Pipswitch WorkgroupShare Data | OK キャンセル ヘルプ(出) 読み取り専用(E) 排他(E) |
| ファイルの種類(<u>T</u>): Access データペース (*.m. ∨ | ドライブ(⊻): ■ c: ✓ | ネットワーク(<u>N</u>) |

3,「SQL Server」の場合

名前に「Workgroupshare」と入力しプルダウンより SQL Server を選択し【次へ】をクリックします。

| <u> </u> | |
|-------------|--|
| 5 | QL Server に接続するための和7兆ナータッー人を1FD&する |
| | このウイザードは、SQL Server に接続するために使用する ODBC データ ソースを作 成するお手伝いをします。 |
| | 新しいデータソースの名前を入力して伏さい。 |
| | 名前(M): Workgroupshare |
| | データ ソースについての説明を入力してください。 |
| | 說明(D): |
| | 接続する SQL Server サーバー名を入力してください。 |
| | サーバー(S): KGTM-96VM2¥SQLEXPRESS |
| | |
| | |
| | |
| | 完了 次へ(N) > キャンセル ヘルプ |
| | 完了 次へ(N) > キャンセル ハルプ |
| グイン ID | ************************************* |
| グイン ID ℠ | 売了 次へ(N)> キャンセル へルブ ・ 体限を確認し【次へ】をクリックします QL Server に接続するための新規データソースを作成する |
| グイン ID s | 売了 次へ(N) > キャンセル へルブ 権限を確認し【次へ】をクリックします QL Server に接続するための新規データ ソースを作成する SQL Server が、ロウイン ID の情題の構態を行う方法は? |
| グイン ID s | 売了 次へ(N) > キャンセル へルブ 権限を確認し【次へ】をクリックします QL Server に接続するための新規データ ソースを作成する SQL Server が、ログイン ID の構想の構造を行う方法は? (2) Lab C for DPC/ン ID 3、Windows MD OPER d= 7 (5 # 5000) |
| グイン ID s | 売了 次へ(N) > キャンセル へルブ 権限を確認し【次へ】をクリックします QL Server に接続するための新規データ ソースを作成する SQL Server が、ロヴイン ID の構想の構造を行う方法は? ・ドットワークへのロヴイン ID で、Windows NT の総証・カーズムを使う(W) |
| グイン ID s | 売了 次へ(N) > キャンセル へルブ 権限を確認し【次へ】をクリックします QL Server に接続するための新規データ ソースを作成する SQL Server が、ログイン ID の確認の確認を行う方法は? ● ドットワーケへのログイン ID で、Windows NT の認証がの二ズムを使う(W) ○ ユーザーが入力する SQL Server 用のログイン ID とびスワードを使う(S) |
| グイン ID s | |
| グイン ID s | 売了 次へ(N) > キャンセル へルブ 年にとれ、レバー 年間を確認し【次へ】をクリックします QL Server に接続するための新規データソースを作成する SQL Server は、ログイン ID の確認の確認を行う方法は? ● ドゥトワークへのログイン ID で、Windows NT の認証がカニズムを使う(W) ○ ユーザーが入力する SQL Server 用のログイン ID とけなワードを使う(S) SQL Server との通信に使用するキットワーク ライブラルを変更するには、(クライアントの設定(D) |
| グイン ID s | 荒 |
| グイン ID s | |
| グイン ID s | 売了 次へ(N) > キャンセル へルブ 体限を確認し【次へ】をクリックします QL Server に接続するための新規データソースを作成する × SQL Server に接続するための新規データソースを作成する × ● 片キケワークへのログイン ID の増加の確認を行う方法は? ・ ● オキケワークへのログイン ID で、Windows NT の認証がつニズムを使う(W) ○ ユーザーが入力する SQL Server 用のログイン ID とパマワードを使う(S) SQL Server との通信に使用するキャトワーク ライブラリ&な便するには、(クライアントの設定(1)… クライアントの設定(1)… ✓ SQL Server に接続して追加の構成オプションの規定設定を取得する(C) ログイン ID (L): ログイン ID (L): administrator |
| グイン ID s | 売了 次へ(N) > キャンセル へルブ 体限を確認し【次へ】をクリックします QL Server に接続するための新規データソースを作成する SQL Server は接続するための新規データソースを作成する マレムション・シュージーが入力する SQL Server 用のログイン ID とパスワードを使う(S) SQL Server との通信に使用するネットワーク ライブラリをな更するには、(グライアントの設定(T)… マライン・DQ(L): administrator パスワード(P): |
| グイン ID s | ボア 次へ(N) > キャンル へルブ 本に へんブ 本 になっていたいでは、 ホーム・ ホーム・ |

「規定のデータベースを以下のものに変更する」をチェックし、プルダウンより Workgroupshare を選択し、【次へ】をクリックします。

| s | QL Server に接続するための新規データ ソースを作成する | x |
|---|---|---|
| | ● 既定のデータペースを以下のものに変更する(D): ● パースファイル名を添付(H): ● ANSI の引用符付き識別子を使用する(U) ● ANSI の別相符付き識別子を使用する(L) ● 「ANSI の NULL、埋め込み文字、誓告を使用する(A) □ プデイツ! SQL Server が使用不可の場合はフェイルオーバー SQL Server を使用する(F) | |
| | < 戻る(B) 次へ(N) > キャンセル ヘルプ | |

【完了】をクリックします。

| : | SQL Server に接続するための新規データ ソースを作成する |
|---|---|
| | SQL Server のシステム メッセージを以下の言語に変更する(C): Japanese ✓ デー・尓 塗力な場号を使用する(Y) ✓ マ 文字ブー・忨 塗力な場号を使用する(Y) ✓ マ 大学ブー・「「「「「「「「」」」」」 ● (1) ● 二 」 二 」 二 ● ● ● <td< th=""></td<> |
| | < 戻る(B) 完了 キャンセル ヘルプ |

【データソースのテスト】をクリックし、「テストは無事に完了しました」と表示されますと正常終了 です。



 8) mdb を利用されている場合、Workgroupshare.mdb を右クリックし、セキュリティタブ内の【編集】をクリ ックし、OS のユーザー「NETWORK SERVICE」を追加してフルコントロール権限を与え、【OK】をクリッ クし設定を終了します。

※SQLを利用している場合、本作業はスキップします。

| WorkgroupShare. | mdb のアクセス記 | 午可 | x |
|--|--|--|---|
| セキュリティ | | | |
| オブジェクト名: C:¥Program Files (x86)¥Ipswitch¥IMail¥Workgrc グループ名またはユーザー名(G): | | | |
| LL APPLICATION PACKAGE | S | | |
| Metwork Service | 2¥Administration | -) | |
| Administrators (KGTM-96VM2¥Administrators) & Users (KGTM-96VM2¥Users) | | | |
| Sers (KGTM-96VM2#Users) | | | |
| Sers (KG1M-90VM2#Users) | | | |
| M USERS (KGTM-90VM2#USERS) | 追加(<u>D</u>) | 削除(<u>R</u>) | |
| アクセス詳可(P): NETWORK SERVICE | 追加(<u>D</u>) 許可 | 削除(R) 拒否 | |
| Regional Control Con | 追加(D) 許可 | 削除(R) 拒否 | |
| 2015年5 (KGIM-90VM24USERS) アクセス計可(2): NETWORK SERVICE フルコントロール 変更 | 追加(D) 許可 又 又 | 削除(<u>R</u>) 拒否 | |
| USEYS (KGTM-90VM24USERS) ア/セス許可(約): NETWORK SERVICE フルコントロール 変更 読み取りと実行 | 追加(D) 許可 又 又 | 削除(R) 拒否 □ 2 □ 3 | |
| ソシピオド可(2): NETWORK アクセス計可(2): NETWORK SERVICE フルコントロール 変更 読み取りと実行 読み取りと実行 | 追加(D) 許可 ジ ジ | 削除(R) 拒否 □ | |
| ンSEYS (KGTM-96VP/24USERS) アルセス計石(伊): NETWORK SERVICE フルコントロール 変更 読み取りと実行 読み取り 書き込み | 造加(D) 許可 又 又 又 又 | 削除(R) 拒否 □ | |
| フクセス計可(2): NETWORK アクセス計可(2): NETWORK フルコントロール 変更 読み取りと実行 読み取り 書き込み | <u>追加(D)</u> 許可 マ マ マ マ | 削除(E) 拒否 | |

データインポート作業は以上です。

5:IMail Server インストーラについて

IMail Server v12の製品モジュールは弊社 Web サイト「テクさぽ」よりダウンロードしていただく形式となります。

下記 Web サイトよりログイン後、「FAQ/お問い合わせ」>「IMail 製品」>「ダウンロード」>「製品モジュール」>「IMail Server v12.5.6 モジュールダウンロード」に進んでください。

テクさぽ

https://secure.okbiz.okwave.jp/cybernet/

ログインアカウントはご購入時にお渡ししている「ライセンス確認書」をご参照ください。

インストールを開始するにはダウンロードした exe ファイルを Windows の管理者アカウントで実行します。 インストーラーが起動したら次章へ進んでください。

6:アクティベーション

IMail Server v12では新規インストール又はアップグレードの前に製品のアクティベーションが必要です。 このアクティベーションには「プログラムキー」が必要となります。IMail Server v12を新規にご購入され たお客様は「IMail Server ライセンス確認書」に記載されたプログラムキーをご利用ください。IMail Server v10 以降のバージョンをご利用のお客様は既にお持ちのプログラムキーをご用意ください。 インストーラー画面の【Next】ボタンをクリックして次に進みます。

| 🙀 IMail Server – InstallShield Wizard | | × |
|---------------------------------------|---|---|
| ipswitch | Welcome to the InstallShield Wizard for IMail Server | |
| [•] IMail Server | The InstallShield(R) Wizard will install IMail Server on your computer. To continue, click Next. | |
| | | |
| | Installation Help | |
| | Release Notes Getting Started Guide | |
| | WARNING: This program is protected by copyright law and international treaties. | |
| | | _ |
| 12.5.6.101 | < Back Next > Cancel |] |

※ Windows Server 2012/2016 にインストールの場合、ここで"Installaration Warnings"の画面が表示されますが、SQL Server の利用を推奨する内容ですのでそのまま【Next】ボタンで次へ進めてください。

使用許諾の内容を確認して「I accept the terms in the license agreement」を選択し、【Next】ボタンをクリックして次に進みます。

| 🛃 IMail Server – InstallShield Wizard | × |
|---|---|
| License Agreement Please read the following license agreement carefully. | ipswitch IMail Server |
| Ipswitch License Agreement READ THE TERMS AND CONDITIONS OF THIS AGRE CAREFULLY BEFORE LOADING, AND/OR OTHERWISE SOFTWARE. THIS AGREEMENT REPRESENTS THE E AGREEMENT CONCERNING THE SOFTWARE BETWEEN IPSWITCH, AND IT SUPERCEDES ANY PRIOR PROP UNDERSTANDING BETWEEN YOU AND IPSWITCH. B OR INSTALLING THE SOFTWARE, AND/OR USING T YOU ARE ACCEPTING AND AGREEING TO THE TERM AGREEMENT, AND ARE THEREBY CREATING A CONT AGREEMENT, BETWEEN YOU AND IPSWITCH. IF YO WILLING TO BE BOUND BY THE TERMS OF THIS A | EMENT USING THE NTIRE YOU AND OSAL OR Y DOWNLOADING HE SOFTWARE, IS OF THIS RACTUAL U ARE NOT GREEMENT, YOU |
| • I accept the terms in the license agreement • I do not accept the terms in the license agreement | Print |
| Install5hield | xt > Cancel |

6-1:インターネットにアクセスできる環境の場合

インターネットにアクセスできる環境では Online アクティベーションが可能です。

1)「Serial Number」にプログラムキーを入力し【Activate】ボタンを押して、次の画面に進みます。

| ≪注 | 意≫ |
|----|----|
|----|----|

IMail Server のアクティベーションを行うプログラムキーは半角英数字『23 桁』です。 入力したプログラムキーの桁数が正しいかを再度ご確認ください。

| Maii Serve |
|------------|
| |
| |
| |
| |
| |
| |
| |
| |
| |
| |
| |

2) アクティベーションが正常処理されますと下記のようにライセンスにて有効化された項目が表示されます。【Next】ボタンを押して、次の画面に進みます。

| 🙀 IMail Server – InstallS | Shield Wizard | | | × |
|---|---------------------------|----------------|----------------|------------------------|
| Activation / Deactivatio Activate / Deactivate you features | n r copy of IMail to (| enable | ij | Switch IMail Server |
| Serial Number: | | | | |
| _ Summary | | | | |
| License Type: Perpetual | | | | |
| IMail: | Licensed: Yes | User Count | : Unlimited | |
| Collaboration: | Licensed: Yes | | | |
| Instant Messaging: | Licensed: Yes | | | |
| Premium AntiSpam: | Licensed: Yes | Days Left: | 364 | |
| CYREN Anti-Virus: | Licensed: Yes | Days Left: | 364 | |
| Virus Outbreak Detection: | Licensed: Yes | Days Left: | 364 | |
| Exchange ActiveSync: | Licensed: No | | | |
| Offline Activation | | | | |
| InstallShield | | | | |
| Activate Deacti | vate | < <u>B</u> ack | <u>N</u> ext > | Cancel |

アクティベーション終了後は、「7:プログラムインストール」に進みます。

6-2:インターネットにアクセスできない環境の場合

インターネットにアクセスできない環境でアクティベーションを行なう必要がある場合、Offline アクティ ベーションを実施します。

1) 「Offline Activation」を選択して、【Activate】ボタンをクリックします。

| 🙀 IMail Server – Install | õhield Wizard | | × |
|---|---------------------------------------|------------------|-----------------------|
| Activation / Deactivatio Activate / Deactivate you features | n r copy of IMail to enable | ip | Switch Mail Server |
| Serial Number: | | | |
| Summary | | | |
| License Type: | | | |
| IMail: | Licensed: No | | |
| Collaboration: | Licensed: No | | |
| Instant Messaging: | Licensed: No | | |
| Premium AntiSpam: | Licensed: No | | |
| CYREN Anti-Virus: | Licensed: No | | |
| Virus Outbreak Detection: | Licensed: No | | |
| Exchange ActiveSync: | Licensed: No | | |
| Offline Activation | | | |
| InstallShield | | | |
| Activate Deacti | vate <u>Sa</u> a | k <u>N</u> ext > | Cancel |

2) 「Serial Number」にプログラムキーを入力し「Use Action Internet connection」のチェックを外した状態で【Activate】ボタンをクリックします。

| ≪注意≫ IMail Server のアクティベーションを行うプログラムキーは半角英数字『23 桁』です。 入力したプログラムキーの桁数が正しいかを再度ご確認ください。 | | | | |
|--|---|--|--|--|
| Ipswitch IMail Server 12 Activation | Enter your serial number to activate your license for Ipswitch IMail Server 12 on this computer. | | | |
| | Serial Number: Don't have a serial number? Have a license file? | | | |

Use active Internet connection. (Uncheck to force offline activation.)

く<u>B</u>ack <u>A</u>ctivate キャンセル

3) 【Generate File】ボタンを押して、ファイル「license.ofa」をローカル上の任意のディレクトリに保存します。



 【Generate File】ボタンを押した際に下記のようなエラーが表示される場合がありますが、任意の ディレクトリに「license.ofa」を保存してください。取得した「license.ofa」をインターネットにアクセス 可能な別の PC ヘコピーします。

| Ipswitch IMail Server 11 Activati | n X |
|--|---|
| The offine activation the container to paytic to actrast this conquiter. The locers file container actrated on this syst configure the features | Follow these steps to complete Offline Activation for the Ipswitch IMail Server 11 license: 1. Click Generate File to create an offline activation file and save it. 2. Copy the offline activation file to another computer with Internet access. 3. From that computer, visit <u>http://license.joswitch.com/offline</u> 1. Strom that the strom that the str |
| 名前を付けて保存 (277474周辺の) (277474月辺の) | <u>G</u> enerate File <u>Next</u> <u>۲</u> × |
| | rr Iicense.ofa Text Files (k.ofa) マ キャンセル |

5) 別の PC などから Web ブラウザで指定されたハイパーリンク <u>http://license.ipswitch.com/offline</u> にアクセスし、「IMail Customer Portal」をクリックします



6) 【参照】ボタンを押して、保存した「license.ofa」を選択し、[Submit] をクリックします。



7) 生成された「license.txt」をローカル上の任意のディレクトリに保存します。このファイルを IMail Server をインストール中のサーバーにコピーします。



8) IMail Server のアクティベーションの画面に戻り、【Next】ボタンを押して、次の画面に進みます。



9) License File フィールドの【Browse】ボタンを押して、保存した「license.txt」を選択し、【Activate】ボ タンを押します。

| Ipswitch IMail Server 12 Activation | |
|-------------------------------------|--|
| Mail Server | - |
| | Specify the license file location. License File: Duscrs¥Administrator¥Downloads¥license Copy the offline activation file (C:¥Users¥ADMINIŤ1¥AppData¥Loca I¥Temp¥¥license.ofa) to a computer with Internet access. From that computer, visit http://license.jiswitch.com/offline and follow the |
| | instructions to upload the offline activation file and download a license file. <u>くB</u> ack <u>A</u> ctivate キャンセル |

10) オフラインアクティベーションが成功した画面になります。【Finish】ボタンを押します。

| Ipswitch IMail Server 12 Activation | X |
|-------------------------------------|---|
| Mail Server | The Ipswitch IMail Server 12 license was successfully activated on this computer. |
| | |
| | |
| | <u> </u> |

11) アクティベーションが正常処理されますと下記のようにライセンス化された項目が表示されます。

【Next】ボタンを押して、次の画面に進みます。

| 🛃 IMail Server – Install | Shield Wizard | | × |
|---|----------------------------------|----------------|--------------------------|
| Activation / Deactivatio Activate / Deactivate you features | n r copy of IMail to e | enable | ipswitch IMail Server |
| Serial Number: | | | |
| _ Summary | | | |
| License Type: Perpetual | | | |
| IMail: | Licensed: Yes | User Count: I | Unlimited |
| Collaboration: | Licensed: Yes | | |
| Instant Messaging: | Licensed: Yes | | |
| Premium AntiSpam: | Licensed: Yes | Days Left: 🔅 | 363 |
| CYREN Anti-Virus: | Licensed: Yes | Days Left: 🔅 | 363 |
| Virus Outbreak Detection: | Licensed: Yes | Days Left: 🔅 | 363 |
| Exchange ActiveSync: | Licensed: No | | |
| Offline Activation | | | |
| InstallShield | | | |
| Activate Deacti | ivate | < <u>B</u> ack | Next > Cancel |

7:プログラムインストール アクティベーションに続き、プログラムインストールが始まります。

1) IMail Server v11 以前からのアップグレードの場合、下記の画面が表示されます。 IMail Server v12.1 以降からのアップグレードの場合、この項はスキップします。



IMail Server v11.03 以降では 1 メールボックスのファイルサイズ制限(2GB)がなくなりました。その ためアップグレードインストール終了後にメールボックスの「コンバート」作業を行ないます。コン バート対象はメールボックス(拡張子 mbx)ではなく、メールボックスに付随するファイル拡張子 srt と拡張子 uid のファイルとなります。

「コンバート」には下記の3種類の方法があります。

- (1) アップグレードインストール終了の「Launch Mailbox Conversion」を実行する。
- (2) IMail ディレクトリ(Program files¥Ipswitch¥IMail / Program files(x86)¥Ipswitch¥IMail)直下の 「convert.exe」をコマンドプロンプトより実行する。
- (3) 各ユーザーが WebMessaging / メーラー(POP3 又は IMAP4)でアクセスする。

ユーザー数が多い場合や1ユーザーあたりのメールボックスサイズが大きい場合は上記(1)又は (2)は多くの時間がかかります。開発元の試算では50GB毎で約30分と見積もっております。但し こちらはサーバーのスペックやリソース使用量によって変わりますのでご注意ください。ユーザー 数が多い場合やアップグレード作業を速やかに終了させたい場合は(3)の方法が推奨となりま す。 インストールディレクトリが表示されます。サーバ移行に伴い、移行元サーバのインストールフォ ルダをコピーしている場合は、この画面で【Change】をクリックし、コピーしたフォルダを選択しま す。

| 👘 IMail Se | rver – InstallShield Wizard | | × |
|---|---|--------------|--------------------------|
| Destinat i Click Ne: to a diff | on Folder kt to install to this folder, or click Chang erent folder. | e to install | ipswitch IMail Server |
| Þ | Install IMail Server to: C:¥Program Files (x86)¥Ipswitch¥IMa | il¥ | Change |
| InstallShield - | < | Back | t> Cancel |

3) インストールする機能を選択します。

| 🛃 IMail Server - | - InstallShield Wiza | rd | | × |
|------------------------------|---|---------------------------------------|-------------------------------------|-----------------------|
| Setup Type Choose the set | up type that best suits γ | our needs. | ip | switch Mail Server |
| Please select a | setup type. | | | |
| • Typical | Most commonly used fo | eatures will be ins | talled (Recommende | d) |
| C <u>C</u> omplete | All program features w space.) | ill be installed. (Ri | equires the most disl | k |
| C Cu <u>s</u> tom | Choose which program will be installed. Recorr | i features you wa imended for adva | nt installed and whe nced users. | re they |
| InstallShield | | < <u>B</u> ack | Next > | Cancel |

(1) Typical

IMailの標準構成 (WebMessagngとWebAdminを含む)がインストールされます。

(2) Complete

IMail Server v12 の全ての機能をインストールします。

(3) Custom

インストールするコンポーネントを選択できます。

「Custom」を選択し、【Next >】をクリックします。

4) 「Custom」を選択した場合、インストールするコンポーネントを選択できます。

| 🛃 IMail Server – InstallShield Wizard | × |
|--|--|
| Custom Setup Select the program features you want installed. | ipswitch IMail Server |
| Click on an icon in the list below to change how a feature is in: I Mail Server V Veb Applications V Prehium AntiSpam Collaboration Instant Messaging I Mail Anti-Virus powered by CYREN | stalled. Feature Description IMail Server is a Scalable, standards-based, Windows email server with Webmail, SMTP, POP, IMAP, LDAP and list server This feature requires 162KB on your hard drive. It has 2 of 2 subfeatures selected. The subfeatures require 120MB on your hard drive. |
| InstallShield | Next > Cancel |

「+」をクリックするとその配下の機能が表示されます。

| 🙀 IMail Server – InstallShield Wizard | × |
|---|--|
| Custom Setup Select the program features you want installed. | ipswitch IMail Server |
| Click on an icon in the list below to change how a feature is in | stalled. |
| Mail Server Web Applications Web Client v2 Web Applications Web Client v2 Web Administration Web Administration IMail Web Service Exchange ActiveSync v2 Premium AntiSpam Collaboration | Feature Description IMail Server is a Scalable, standards-based, Windows email server with Webmail, SMTP, POP, IMAP, LDAP and list server This feature requires 162KB on your hard drive. It has 2 of 2 subfeatures selected. The subfeatures require 120MB on your hard drive. |
| | <u>C</u> onfigure service start settings |
| InstallShield | |
| Help Space < Back | Next > Cancel |

「▼」を選択するとインストール可否が決められます。インストールしない機能は「× This feature will not be available」を選択します。

| 🞼 IMail Server – InstallShield Wizard | × |
|---|-------------------------------|
| Custom Setup Select the program features you want installed. | ipswitch IMail Server |
| Click on an icon in the list below to change how a feature is installed. | |
| Imail Server Imail Server | ure Description |
| This feature will be installed on local hard | drive. |
| ☐ ☐ ☐ ☐ This feature, and all subfeatures, will be in | stalled on local hard drive. |
| × This feature will not be available. | |
| Exchange ActiveSync v2 | eatures require 72MB on |
| Premium AntiSpam | |
| | 0 |
| | rigure service start settings |
| InstallShield | |
| Help Space < Back N | ext > Cancel |

IMail Server v12 でインストールが選択できる機能は以下の通りです。

「+」をクリックし全機能を表示してください。

- (1) IMail Server
 - 1, Services

```
IMail Server で稼働するサービスです。この機能は必須でインストールされます。
```

2, Web Applications

WebMessaging(Webメール)機能です。

2-1,Web Client v2

a,Themes

WebMessaging 機能で利用する「色」と「イメージ」が格納されます。「Default」は必須で すが、それ以外はインストール可否を選択できます。

※インストール可否による WebMessaging の動作に違いはありません。

b,Set iClient as root

WebMessaging 機能にアクセスする際、通常 http://FQDN/iclient とアクセスしますが、 有効した場合 http://FQDN/と「iclient」を指定せずにWebMessaging へアクセス可能で す。

2-2,Web Administration

IMail Server v12のWeb管理画面です。

2-3,Exchange ActiveSync

Microsoft ActiveSync を利用してメールデータをモバイル端末と同期します。

日本では未サポート機能の為「× This feature will not be available」を選択します。

2-4,IMail Web Service

開発元で提供しているメールアーカイブソフトとの連携で利用されるサービスです。

日本では未サポート機能の為「× This feature will not be available」を選択します。

(2) Premium Anti-spam

CYREN 社のエンジンを利用し受信メールのスパム判定を行います。

IMail Premium ライセンスを購入したお客様はインストールします。

IMail Server ライセンスを購入されたお客様は「× This feature will not be available」を選択します。

(3) Collaboration

WebMessaging で「共有連絡帳」機能を利用する際に選択します。

※日本国内では「WebMessaging 共有連絡帳」機能のみをサポートしております。

設定方法については別紙「WebMessaging 共有連絡帳作成方法」をご参照ください。

利用しない場合「× This feature will not be available」を選択します。

- (4) Instant Messaging
 チャット機能です。利用しない場合「× This feature will not be available」を選択します。
- (5) IMail Anti-Virus powered by CYREN
 CYREN 社製のアンチウィルスソフトです。
 IMail Anti-Virus ライセンスを購入されたお客様は本機能を選択します。

購入されていないお客様は「× This feature will not be available」を選択します。

5) IMail の Web Administration と WebMessaging が IIS 上で利用する Web サイトを選択します。アッ プグレードする場合は、旧バージョンで利用されている Web サイトが選択されます。 別のポート番号で IMail Server を利用したい場合、IIS 側で事前に Web Site を作成しておくことで、 この画面で表示され、選択する事ができます。設定終了後【Next】ボタンを押して進みます。

| 🔂 IMail Server – InstallShield Wizard | × |
|---|--------------------------|
| Web Application Configuration Select an IIS Site from the list below. IMail Web Applications will be installed to this site | ipswitch IMail Server |
| Default Web Site | |
| InstallShield | vext > Cancel |



6) 【Install】ボタンをクリックしインストールを実行します。

「Do not set permissions」のチェックがある場合、外してください。

| 뤻 IMail Server – InstallShield Wizard | × |
|---|--------------------------------|
| Ready to Install the Program The wizard is ready to begin installation. | ipswitch IMail Server |
| Click Install to begin the installation. | |
| If you want to review or change any of your installation setting exit the wizard. | s, click Back. Click Cancel to |
| If you want to manually set permissions after the install has con following option. | npleted please select the |
| Do not set permissions | |
| Ipswitch registry settings will be backed up to: C:¥Program Files (x86)¥Ipswitch¥IMail¥IpswitchRegistryBackup-20170914-1841. | ; reg |
| | |
| Installohield — | Instal Cancel |

| 👘 IMail Se | rver – InstallShield Wiza | ard | | |
|------------------------|--|------------------|--------|--------------------------------|
| Installing The prog | IMail Server ram features you selected are | being installed. | i | pswitch IMail Server |
| B | Please wait while the InstallShield Wizard installs IMail Server. This may take several minutes. | | | This may take |
| | Status: | | | |
| | Copying new files | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| TochallShield | | | | |
| 1190910111010 - | | < <u>B</u> ack | Next > | Cancel |

7) インストールが終了しました。

| 🖓 IMail Server – InstallShield Wizard 🛛 🗙 | | |
|---|---|--|
| ipswitch | InstallShield Wizard Completed | |
| ^I Mail Server | The InstallShield Wizard has successfully installed IMail Server. Click Finish to exit the wizard. | |
| | 🗹 Launch IMail Admin | |
| | Show the Windows Installer log | |
| InstallShield | | |
| an malanting transm | < <u>B</u> ack Finish Cancel | |

「Launch IMail Admin」をチェックし【Finish】ボタンをクリックすると管理画面が表示されます。 IMail Server v11.00 以前からのバージョンアップの場合、「Launch Mailbox Conversion」をチェック し【Finish】ボタンをクリックすると旧 IMail Server 内のメールボックスに付随するファイル(拡張子 srt と拡張子 uid)をコンバートします。

8) 評価版ライセンスで構築された場合は、製品版プログラムキーへアクティベーションし直す必要があります。方法は「78:ディアクティベーション/評価ライセンスから製品版ライセンスへの切り替え」を参照ください。

8:ディアクティベーション/評価ライセンスから製品版ライセンスへの切り替え

ディアクティベーションはサーバー移行の際に移行元サーバで必要な作業となります。評価ライセンスで はディアクティベーションは不要です。

- 1) ディアクティベーション
 - スタート すべてのプログラム Ipswitch IMail Server IMail Server Activation Utility を起動します。
 - (2) 「Deactivate this license on this computer」を選択し、【次へ(N)】をクリックします。

| Ipswitch IMail Server 12 Activation | |
|-------------------------------------|---|
| | A license for Ipswitch IMail Server 12 is already activated on this computer. |
| | Select one of the following and click Next Refresh the current license Deactivate this license on this computer |
| | Click Cancel to leave the license unchanged. |
| | < 戻る(日) (次へ(N) > キャンセル |

(3) 下記画面が表示され、ディアクティベーションは終了です。

| Ipswitch IMail Server 12 Activation | | × |
|-------------------------------------|--|---|
| MailServer | The Toswitch IMail Server 12 license was deactivated on this computer. The license is still valid. You may install and activate this copy of pswitch IMail Server 12 on another computer. | |
| | Finish |] |

- ディアクティベーションは「製品版プログラムキー」で可能です。評価ライセンスでは行えません。
- IMail Server がインストールされているサーバーが直接インターネットに接続できない環境の 場合、お客様でディアクティベーションはできません。サポートセンターで実施する必要があ ります。「製品版プログラムキー」と「コンピューター名」をサポートにご連絡ください。
- ディアクティベーションすると IMail Queue Manager Service が停止し、メール送受信ができな くなります。

- 2) 評価ライセンスから製品版プログラムキーへの切り替え
 - (1) スタート すべてのプログラム Ipswitch IMail Server IMail Server Activation Utility を起動します。
 - (2) 【Next】をクリックします。

| Ipsv | witch IMail Server 12 Activation | |
|--|--|--|
| Mail Server | An evaluation license for Ipswitch IMail Server 12 has been found on the system. You have 30 days left on your evaluation. | |
| To unlock the evaluation, click Next. | | |
| Click Cancel to leave the license unchanged. | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | < 戻る(B) <u>N</u> ext キャンセル | |

(3)「Serial Number」に製品版プログラムキーを入力し【Activate】をクリックします。
 製品版プログラムキーは半角英数字で23桁です。

| Ipsw | itch IMail Server 12 Activation |
|--|---|
| Mail Server | Enter your serial number to activate your license for Ipswitch IMail Server 12 on this computer. |
| | Serial |
| The serial number is on a label inside packaged software or is delivered by email. | <u>Don't have a serial number?</u> Have a license file? |
| | ☑ Use active Internet connection. (Uncheck to force offline activation.) |
| | < <u>B</u> ack <u>A</u> ctivate キャンセル |

(4)「The Ipswitch IMail Server 12 license was successfully activated on this computer」と表示されるとアクティベーション正常終了です。【Finish】をクリックし本画面を閉じます。

| Ipswite | ch IMail Server 12 Activation | x |
|-------------|--|---|
| Mail Server | | |
| | The Ipswitch IMail Server 12 license was successfully activated on this computer. | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | _ |
| | Einish | |

(5) IMail Administration Console - Licenses の「Serial Number」に製品版プログラムキーの 15 桁が 表示されている事を確認します。

| ۲ | | IMail Administration Con: |
|---------|--|--|
| Domains | Refresh License | |
| System | Product Name: Serial Number: Version: Maximum Enabled Users Allowed: | Imail Premium – Unlimited User License 125.6.101 Unlimited |

- 評価ライセンスではディアクティベーションが不要です。
- IMail Server がインストールされているサーバーが直接インターネットに接続できない環境の場合、オフラインアクティベーションの手順で製品版プログラムキーをアクティベーションします。

9:SQL Server オブジェクト設定

こちらはサーバ移行を伴うバージョンアップで新しいサーバに SQL Server Express とIMail Server をイ ンストールした場合に必要な設定となります。

IMail Server のインストール後、SQL Server に対して使用するオブジェクトの設定を行う必要があります。 IMail WebMessaging (Webメール)を使用するにはこの設定が必要です。

※IMail WebMessaging (Web メール) をご利用にならない場合や、IMail Server インストール時に アドレス帳データベースとして Access MDB Database を選択された場合には本章の設定は 不要です。

この設定作業は SQL Server Management Studio を使用して行います。インストールされていない場合 にはインストールしてから下記手順に従ってください。

 Windows 管理者アカウントで SQL Server Management Studio を起動し、「オブジェクト エクスプ ローラー」の [セキュリティ] - [ログイン] 以下に下記3つのオブジェクトが存在していることを確 認します。

NT AUTHORITY¥LOCAL SERVICE

NT AUTHORITY¥NETWORK SERVICE

NT AUTHORITY¥SYSTEM



いずれか存在していない場合には、手順 2) ~ 5)に従って、追加します。 3つとも存在している場合には、手順 6)に進みます。 2) [セキュリティ]-[ログイン]を右クリックして [新しいログイン(N)...]をクリックします。



3) 次の画面の[検索] をクリックします。

| 8 | | ログイン - 新規作成 | |
|---------------------|----------------------------|-------------|--|
| ページの選択 ☆ 全般 | 🖾 スタリプト 🔻 🖪 ヘルプ | | |
| | ログイン名(N): | 1 | |
| | パスワード(P): パスワードの確認入力(C) | | |

オブジェクト名を入力して [名前の確認] で確認後、OK をクリックします。
 下記は NT AUTHORITY¥LOCAL SERVICE の場合の入力例です。

| ユーザー または グループ の選択 | X |
|------------------------------|-----------------------|
| オブジェクトの種類の選択(<u>S</u>): | |
| ユーザー または ビルトイン セキュリティ プリンシパル | オブジェクトの種類(<u>Q</u>) |
| 場所の指定(<u>E</u>): | |
| RTECH2012R2 | 場所(<u>∟</u>) |
| 選択するオブジェクト名を入力してください (例)(E): | |
| LOCAL SERVICE | 名前の確認(<u>C</u>) |
| | |
| 詳細設定(<u>A</u>) | キャンセル |

5) 下記のように[ログイン名]に追加したオブジェクトが表示されているのを確認後、設定画面下の OK をクリックします。

| 8 | | ログイン - 新規作成 | |
|---|--|----------------------------|--|
| ページの選択 🚰 全般 | 🖾 スクリプト 🔻 🖪 ヘルプ | | |
| ゴーバー ロール ユーザー マッピング | ログイン名(N): ● Windows 認証(M) SQL Server 認証(S) | NT AUTHORITY¥LOCAL SERVICE | |

6) 「オブジェクト エクスプローラー」の [セキュリティ] - [ログイン] の NT AUTHORITY¥LOCAL SERVICE を右クリックしてメニューから [プロパティ] をクリックします。



 「ページの選択」から [ユーザーマッピング]を選択し、右側に表示される [WorkgroupShare] を 選択します。画面下の [WorkgroupShare のデータベース ロール メンバーシップ] で下記のよう に 4 つのオプションをチェックして OK で閉じます。

| | | | +LOCAL SERVIC | | ~ |
|--|--|------------------------------|-----------------------|-----|---|
| ページの選択 ☆ 全般 | 🕻 スクリプト 🔻 🚺 ヘルプ | | | | |
| ● サーバ- ロール ● サーバ- ロール ■ ビーザーマッピング ■ ビーサンクオは高可量なリソース ● 状態 | このログインにマップされたユーザー マップ データベース master model msdb tempdb VorkgroupShare | (D): ユーザー NT AUTHORITY | 既定のス LOCAL SERVICE | +-7 | |
| 接続 サーバー: RTECH2012R2¥SOLEXPRESS 接続 RTECH2012R2¥Administrator 副 接続のプロパティの表示 進行状況 単備完了 | WorkgroupShare では gues WorkgroupShare のデータペース db_accessadmin db_backupoperator db_ddarwriter db_ddarwriter db_derydatareader db_gecurityadmin public | t アカウントが有効 ロール メンバーシップ(B) | | | |

[WorkgroupShare のデータベース ロール メンバーシップ] で選択するオプション

 $db_datareader$

db_datawriter

db_owner

public

- ※上記のオプションが選択できない状態のときは、[WorkgroupShare]のチェックを一旦はずし、 再度チェックを付けてみてください。
- 8) 下記のオブジェクトに対しても手順 6) ~ 7) を繰り返します。
 - NT AUTHORITY¥NETWORK SERVICE
 - NT AUTHORITY¥SYSTEM
- 9) SQL Server Management Studio を終了します。

以上で SQL Server オブジェクトの設定作業は完了です。